



OHZORA SHUPPAN

Young Love Comic **aya**



世の中には

いろいろな  
人間がいる

ドニ!

いって——え!

テメエ!  
どこ見て  
歩いてんだ

え…

良い人  
悪い人

ごくごく普通に  
穏やかに

日々を送ることを  
望む人

ぶつかって来たのは  
そっちじゃ…

あぁ?

おいこれ  
骨折れてんじや  
ねえ?

慰謝料  
—もらわねえと  
なあ!

ぶっ

そんな人々の  
暮らしを

おびやかす  
人

典型的な  
チンピラの  
恫喝どつかつ

まだいるのね  
アンタらみたい  
なの

そして

はあ!?

何だテメエ!!

通りすがりの者だけど

骨が折れたって言うなら病院に連れて行ってあげようか?

私

かたぎりまみ  
片桐麻美の  
場合は――

うるせえ!!

すっこんでろ  
この女!!

グ  
ッ  
ッ

あ?

すか

連れが何か?

!!!





うわあ

いや...

ビクッ...

えっと



目つきヤバエ...

アアエ...



これくらいにしといてやる!!

うわあ...

捨てゼリフまでチンピラ...

ドラマンカでまっ先にやられるタラ...

ふー

...よかった

何もせず行ってかれて...



だ!!  
どけっ!!  
見せモンじゃねえ!!

ぱっ

もっ!!  
麻美ちゃん!!



お願いだから  
危ないことは  
やめてくれ!!

あんなヤバそうな  
人たちに立ち向かう  
なんて!!

無理

さくらり。



私 だって

泣いてる...?

いかついのに  
泣いてる



警察官だし

そう  
私の場合は

子どもの頃から  
正義の味方

悪を憎んで  
弱きを助け

理不尽なことは  
許せない

——  
そんな人間タイプ

いじめっ子

そして  
選んだ職業は  
警察官

——ということ  
パトロール  
お願いします

はいはい

非番なのに  
お疲れ様です

天職だと  
思ってる

お疲れ様  
です！

も——  
いつまで  
いじけてんの  
有樹ゆきは

だって  
麻美ちゃん……っ

せっかく久しぶりの  
お出掛け  
なのにああ！

悪者見つけたら  
僕のこと忘れて  
一目散なんだもん

ちなみにこの男は  
幼なじみの有樹

今まで何度  
見失ったか  
……

わー  
でけえ!!!

この体格  
あの眼力で  
中身はかなりの  
ビビリ

家が近所で  
いつも一緒だった  
私が

ずっと  
いじめっ子から  
有樹を守って  
いた

158cm

195cm

……また  
怯えられた  
……



そんなに僕  
顔怖いかな...

あんな怖そうな  
人達にすら...

さあ？  
私は慣れてるし

っていうか  
有樹の顔  
好きだし

ぽっ

ありがとう

僕も麻美ちゃん  
好き

!

あっ  
すみませ

いえ...

ひいっ

ごめんなさい

ひいって  
言われた！

ひいって...

人見知りで  
コミュ障で

目つきが  
悪いのは  
視力のせい

そんな有樹が  
甘えられる  
唯一の相手が  
私

しくしく

まあ  
まあ

そのことが  
うれしかったり  
心配だったり

なでなで

だって有樹は

大切な友達  
だから

妹

はあ!?

バカなの!!!  
お姉ちゃん!

毎日電話や  
メールして

休みの日には  
必ず一緒に  
出かけて!?

何でそんなに  
怒ってるの...

それで付き合っ  
てないって!?

手繋ぎは?

そーいや昔は  
繋いでた

しないよー  
子どもじゃあるまいし

いつからしなく  
なったん  
だっけ

キスは!?



するワケ  
ないじゃん  
日本人  
だもん

Hは?  
えっち

!!

するか  
そんなコト!

私と有樹だよ!!

ユキ兄  
にい  
かわいそう:

かわいそう  
って?

有樹だって  
あっち  
そんな気  
ないでしょうに

お姉ちゃんは  
男をわかってない!

合コンで出会った  
その日に!  
会話の流れで!!  
その場の雰囲気で  
付き合っようが  
なからうが  
あわよくば...って  
考えてるのが男!

そりゃアンタが  
付き合うのが  
そういうタイプって  
だけで

はあああああ...

いや!

何年もずーっと  
ひとりの女に手を出さず  
大事にする男なんて  
この世にいるハズないのよー!!

わーん!!

アンタ：  
お姉ちゃんが  
知らない間に  
苦労したのねえ…

お姉ちゃん…

そうやって余裕  
ぶっこいてるけどさあ

ユキ兄  
女子人気  
がけっこうあるん  
だからね!

高校の時とか  
秘かにファンって子  
いたんだよ

妹は2つ

よく見たら  
イケメン!とか

物静かで  
実は優しいとか!

その上今は  
人気絵本作家!

優しい物語を  
あの強面が  
描いてるのかと

そのギャップに  
きゅん死に♥女子  
急上中!

作家仲間とか  
編集とか  
周囲に女性  
多そうじゃん!

油断してると  
取られるよ!?

というか  
あたしが欲しいわ!

近い近い

ピンポン

SNS  
チェック中



いや...

えっと...

え——!...?

...知らなかった



今日は楽しかったよ  
次の休みはいつ?  
行きたいところあったら  
教えてね

まあ  
マメだしね

顔だつて  
すつきりと  
整ってる  
いわゆる塩顔



有樹つて  
モテるんだ

アハハ

でも  
付き合つとか

有樹が  
Hなこと  
するとか

まったく想像  
できない

私以外の  
女性の前では  
男らしいのかな

キスしたり  
抱き締めたり

あの  
遅<sup>なま</sup>しい体で  
押し倒して

大きいけれど  
繊細な

あの指先で

ぞくぞく...  
...

やだ...

何ドキドキ  
してるのよ私

ドキッ  
ドキッ

変な想像  
しちゃって

有樹に  
申し訳ない

合わせる顔が  
ない——

…おはよ

今日はちょっと  
あったかいね

顔合わさない  
わけには  
いかないんだよね

平常心  
平常心

家は近所だし

私の出勤時間が  
有樹の散歩時間  
だし

避けるのも  
変だし

にーっ

おはよう  
麻美ちゃん





何かあった？

えっ？

さっきから  
なんか：

おもしろい顔  
してる

おもしろいって！  
失礼過ぎ！！

ごめん

他に何て言うって  
いいのか  
わからなくて

！



ぐいっ

スッ



でさー

行ってみたい  
温泉見つけたん  
だけども今度  
一緒に…

ちよつとの変化に  
気付いたり

うん…

本当に？  
いいの…

うん…

当たり前のように  
車道側を歩いたり

さり気なく  
守ってくれたり

いい男なのは  
わかってる

有樹はもう

小さくて弱い  
男の子じゃない

わかっていて

でも  
認めたく  
なかった

有樹との関係を  
壊したくなかったから

おい…

いつまでも  
無邪気に仲良くなんか  
していられないんだって

大人の男で

私も

大人の女で

壊れて

もしも  
離れて行って  
しまったら…

甘えるような  
あの笑顔を

さりげない  
優しさを

私以外に  
向ける時が  
来たら…

耐えられる  
気がしない

あの有樹くんが  
麻美以外の女性を  
選ぶなんて

めちやくちや  
溺愛されてる  
じゃん

私は

有樹のことを  
こんなにも

いや

ないって

溺愛…？

そういやこの間の  
同窓会  
麻美は仕事で  
来れなかったね

有樹くん  
みんなにお酒つがれ  
まくって

断れないもんだから  
けっこうな量  
呑んじゃって

gggg—!!

次オシな

イヤ  
あの

そしたらもう  
しゃべる  
しゃべる

麻美のこと  
ばっかり  
延々と

どんな  
話を...?

あんなに  
愛されてるのに

まさかキスも  
まだだったとは...

エーと...

どんだけ理性  
強いよ  
有樹くん...

子どもが  
できたの

報告したら  
喜んでくれて

結婚しようって

こないだ  
新しい彼氏  
できたって

うん

そういえば  
恵子のほうは  
どうなの?



子ども…?!

うん

結婚?

そう

一番に  
麻美に知らせ  
たくって  
食事に誘ったん  
だけど



軽蔑する?

順番を守らず  
デキ婚なんかって

曲がったこと  
大嫌いだもんね  
麻美は

するわけ  
ないでしょ  
おめでたいじゃない  
子どもは宝よ!

よかった…

家族は自分で  
作ればいい

愛してくれない親に  
しがみつくなつて…

幸せになんかきや  
だめだよって  
昔言ってくれたでしょ

麻美にだけは  
祝福して  
もらいたかった

幸せになるね

親友の恵子は

家庭がちよつと  
複雑だった

自分に自信がないような言動に

時に怒り  
励まして

守ってあげて  
いるつもりだった  
けど

強くなったんだな

自分で  
伴侶を  
見つけて

私も

自分の気持ちに  
ちゃんと向き合  
わないと――

ど  
ろ  
ろ

ん！

差し入れ！

あ  
りがと……

あれ？  
お酒だ

いらっしやい  
麻美ちゃん

呑みたい  
気分なの

付き合っ  
て

呑まされて  
しゃべりまくった  
らしいし



何も言えない

へー

惠子ちゃん  
結婚かあ

いいなあ

私が素面<sup>シラフ</sup>じゃ  
恥ずかしくって

有樹の気持ち  
知りたいし



…って  
短絡的かな



そりゃあね



有樹にも  
結婚願望  
あるんだ



昔はよく  
私と結婚するうくって  
言ってたよね

うん



今

誰との結婚を  
思い浮かべた？

私？




それとも  
別の誰か

そういえば



その気持ち



今も変わって  
ないよ





—熱っぽい

かま

う

そ…

そう



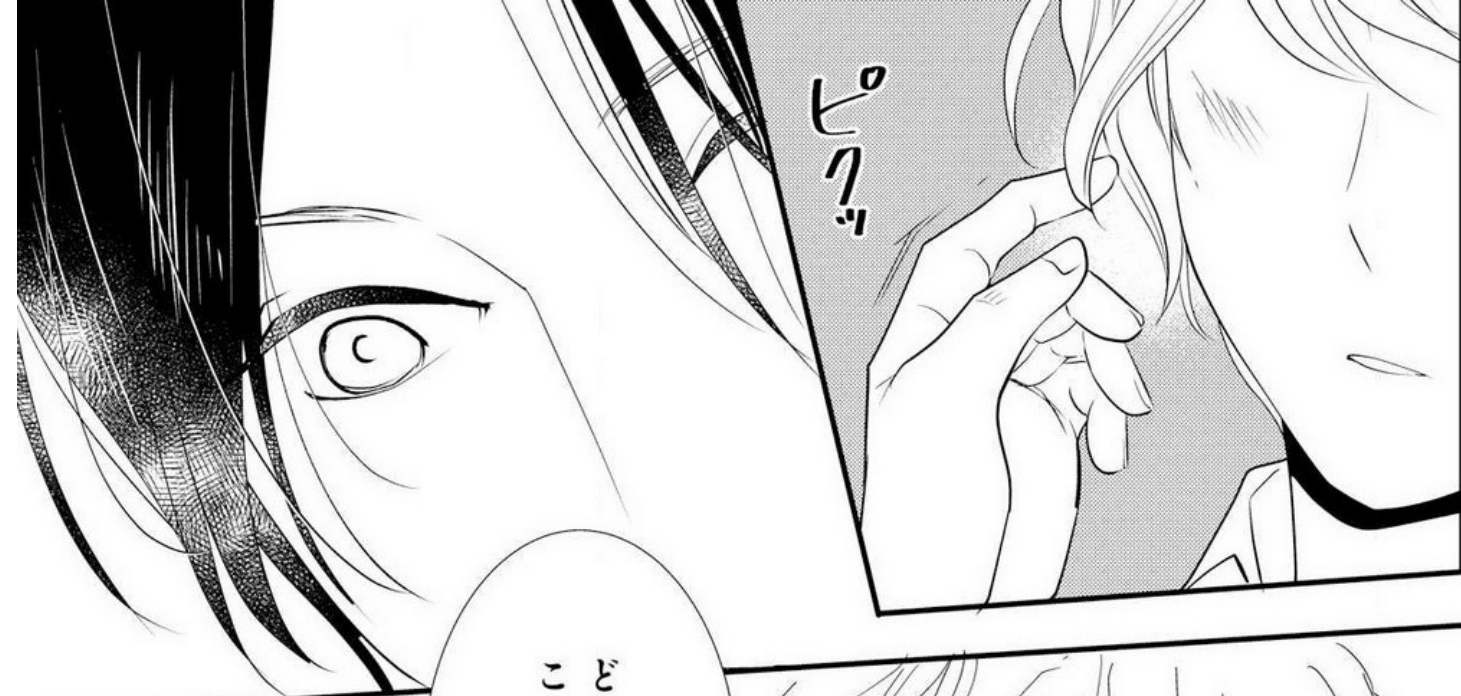
!

いつの間にか  
飲んでる

麻美ちゃんは？

麻美ちゃんは  
どうなの？

— 僕のこと



ピクッ

どうしたの？  
この頬の傷…

え？

ああ



は…

犯人が  
振り回してて…

なでなで

…だから

イヤなんだ

刑事なんて  
仕事…

麻美ちゃんが  
傷つくなんて  
許せない



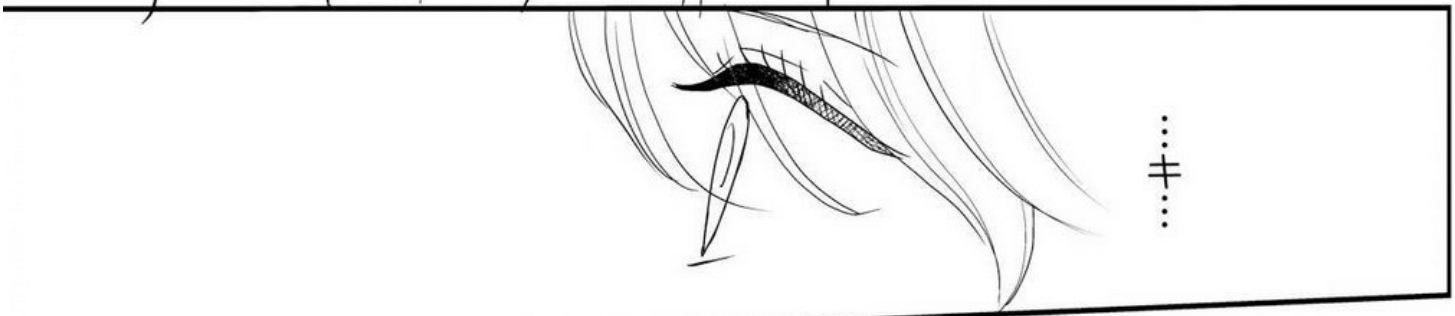
ピタッ

確保した時に  
かすめて…





大丈夫…



…キ…



…っんっ…

(は！)

キス…

されて

…No?



ビクとも  
しない



……

気持ち  
いい……

っ

もう

きゅん

我慢の  
限界

抱くよ

麻美ちゃん

そんな甘い声で  
言われたら

拒絶なんて  
できない





んんん

んん…っ



もっと聞かせて

可愛い声

んっ  
あ

我慢の限界

ずっと

——してくれてたんだ  
——我慢

こうしたいって  
思ってたんだ

うれしい——

あ……



だめ：  
そんなところ…っ

汚ない

麻美ちゃんに  
汚ないところなんて  
ないよ

あ

ああ

っ

何

これ

Hってこんなに  
恥かしいの？

何もかも全部  
見られて

触れられて

なめられて

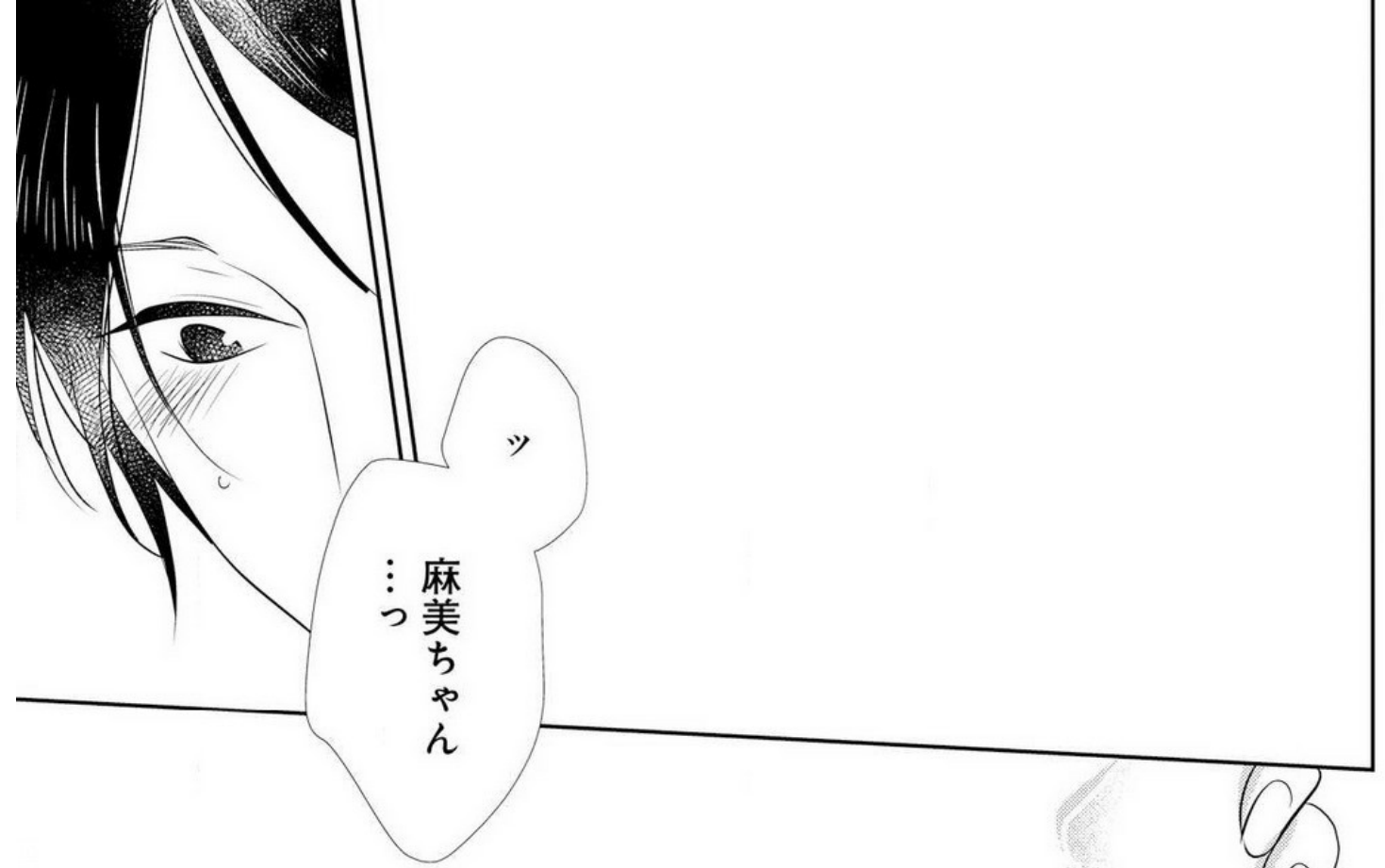
あ

私も

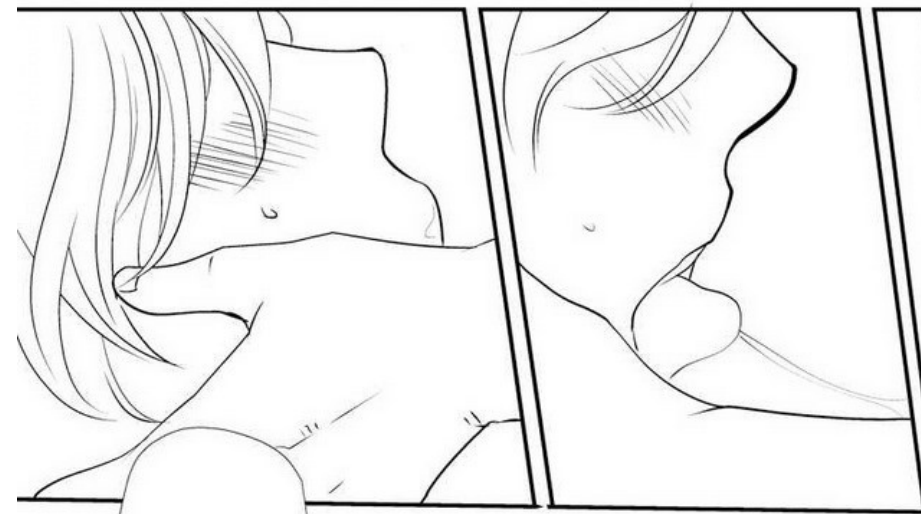
なめたい

勃<sup>た</sup>ってる…

有樹の…



ツ  
…っ  
麻美ちゃん



好きだよ



うれしい…

麻美ちゃん

うん

私も…

——  
一晚中

触れ合った

お互いに  
触っていない  
ところなど  
ないくらいに

ゆっくり  
丁寧に

有樹らしい  
優しいで

私を  
ほぐし

ニッ

——  
ごめんね

はっいって  
挿入して  
きた

痛いよね

…全然

初めての  
痛みなんて

—そんなもの

やっと気持ち  
が通じた  
…その喜びの前で

どこかに吹き飛んで  
しまったわ

—そう

思ったのに

ごめん!!

昨晚のこと

忘れてほしい  
…!!

僕…

後悔しか  
ないって顔

違う

男って  
いうのは  
やることしか

有樹は  
そんな男じゃ…

忘れろ  
—なんて

でも

そんな言葉

…っ

有樹の口から  
聞きたく  
なかった

わかった

Young  
Love  
Comic **aya**

**【単話売】 キミは可愛いケダモノ 1話**

本崎月子

©TSUKIKO MOTOZAKI

デジタル版発行 2018年12月

初版発行 2018年12月

発行人 北脇信夫

編集人 中江陽奈

発行所 株式会社 宙(おおぞら)出版

<http://corporate.ohzora.co.jp>

最新の住所・電話番号は弊社HPをご覧ください。

本書はフィクションです。実在の人物、事件、団体には、いっさい関係ありません。

本書の一部、または全部を無断で複製・転載・上映・放送等することは、法律で定められた場合を除き、著者及び出版者の権利の侵害となります。



2



OHZORA SHUPPAN

Young  
Love  
Comic **aya**





…あれ？

何コレ

赤い…

—あ



キスマークだ  
昨晚  
つけられた

他の場所にも  
たくさん

有樹に  
ゆき

こんな「自分のもの」だとアピールするみたいな

独占欲の塊みたいな印

体じゅうにつけたクセに

忘れて欲しいって どういうこと!?

土下座までして!!

好きだと言って

甘ったるい声で 何度も私の名前を呼んでたのに

我慢の限界 だって

ギリ……



そう言っ  
て有樹は  
私を抱いた

その想いと熱を  
私は受け取って

幸せな時間を  
過ごした

—それなのに  
……

あんな必死な姿で  
頼まれたら

「わかった」と  
答えるしか  
ないじゃない

……そんなこと  
できるわけがないのに

体に残るのは  
印<sup>シルシ</sup>だけじゃない

有樹の体温も

初めての痛みも  
疼<sup>うず</sup>きも



忘れられる  
わけがない

おはよう  
麻美ちゃん

麻美ちゃん？

！

え

あ

おはよ

どきん...



今日も寒いね

うん

仕事頑張ってる

ん

有樹...

普通だ

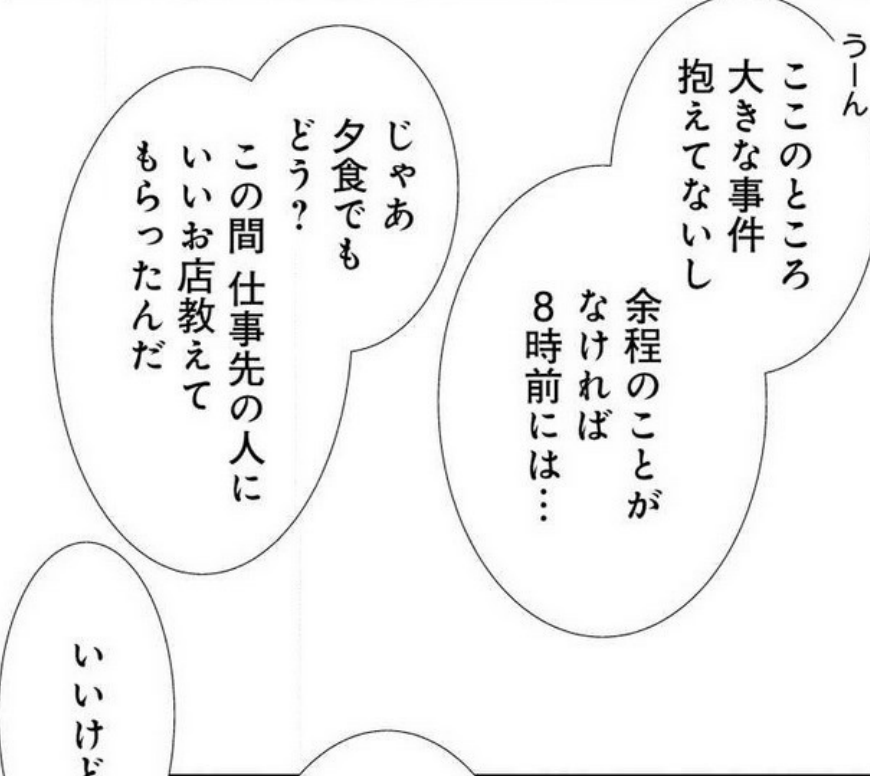
...あのさ



本当に何もなかったみたいにならな

今夜帰りは何時頃になる？

え？



ここのとこ大きな事件抱えてないし

余程のことがなければ8時前には...

じゃあ夕食でもどう？

この間仕事先の人にいいお店教えてもらったんだ

いいけど

じゃあ駅でその時間に待ってるね

忘れられないのも

意識しているのも私だけ

なんだか

うん…

空<sup>むな</sup>しい



え!!



—  
なんて

思っ  
て  
いた  
ん  
だ  
け  
ど



お店って

ここ!?

うん



なんでこんな  
お洒落な...

ていうか  
高いんじゃないの?

珍しく  
「チケット着まよ  
思ったら!!」

はっ

大丈夫  
だよ

僕のおごり  
だし

えっ!!

でも...

いいから  
いいから!!

普段は  
割リ勘

いつもは  
居酒屋とか  
カジュアルなレストラン  
なのに:



高級そうな上  
カップルばかり  
じゃない!?

何あれ  
夜景が素敵!!

料理も

美味い...

よかつた

甘ったるい  
声で

幸せそうに

愛おしげに  
私を見る

まるで  
昨日の夜  
みたいに

どうして？

なかったことに  
してくれって  
言ったクセに

：動揺している  
私に気付いて  
ふざけてる？

— 違う

有樹は  
そんな人間じゃ  
ない

…けど

わからなくな  
って来た…

その日から

有樹の態度が  
明らかに変わった

次の休み  
映画？

いいよ

え？！  
待ってて  
くれたの？  
何時に帰れるか  
わからないって  
言ったのに

いま夜  
10時よ！

今まで  
選択肢に  
なかった  
恋愛映画に  
誘うようにな  
り

前までは  
なかった

不規則な  
帰宅時間の私を  
送迎してくれる  
ようになって

いかに  
ムカッてるか  
ムカッてるか  
ムカッてるか

パンク



歩くときは  
車道側

人ゴミでは  
さり気なく  
かばってくれて

これは  
まえ  
以前からだけど

何を



考えてるの？



また  
ひって  
言われた…

ここは  
変わって  
ないか

すみませ…

ひっ

いえ

きゅっ

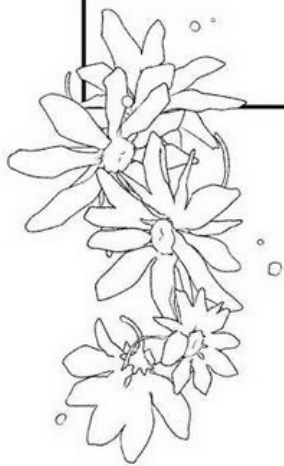
ふう…

日が経つにつれ  
霞んでいく

あの夜の  
有樹の熱

やっぱり

有樹の顔  
好きだな…



!!!

「なでなで」

熱は忘れて  
しまっても

かわいい

あの日 自覚した  
恋心は

消えては  
くれない

ドクン

早く行こう  
映画始まっちゃう

っ





えーと...

あれ？

この写真の  
二人：

ああ  
それなら



最近どこぞから  
流れて来た  
チンピラだ

麻薬の売人だよ

今日をつけている  
ヤクザ事務所にも  
出入りしている



先日  
街中でカップルに  
からんでいるところを  
見かけました

典型的な  
チンピラって  
感じで：

そうか

まあ  
薬のルートも何も  
知らんような末端の  
ヤツらだろうが

主婦とか学生に  
半ば無理矢理  
薬を売りつけていて  
タチが悪い

顔をちゃんと  
覚えておけ

—はい

私は

こういふ奴らが  
嫌いだ

真っ当に生きる人の

心の弱さにつけ入って  
悪い道へと引きずり込む

つけ入られるほうが  
悪いと言う人も  
いるけれど

つけ入るほうが  
悪いに決まってる

そもそも  
弱いところの  
ない人間なんて

きつくない





あれは

有樹と

麻衣…



ユキ兄  
人気あるよ

油断していると  
取られるよ

というか  
私が欲しい



そんな

まさか…ね

偶然会った  
だけだよな？

おかえり  
麻美ちゃん

ただいまー

おかえり

あー  
疲れたー

ただいまあ

ふわ...

有樹と同じ

せつけんの  
香り：



どうしたの  
麻美ちゃん

目つき  
怖いよ

別にイ~~~~

昼間  
麻衣と会ってた  
でしょ

聞き込み中に  
偶然見かけたん  
だけど

え？

あ

うん  
あれは

昨日

：：  
いや

えーと

見間違いじゃ  
ない？

僕ずっと  
家で仕事  
してたし

——有樹が

顔をかくのは  
嘘をついているとき

そんなもの  
長いつき合い  
だから知ってる

あっそ

私に言えない  
ようなこと  
してたんだ

同じ  
シャンプーの  
においさせて

えっ

あの

えっと

あんなふうに

楽しそうに  
歩いて

そんなの

理由は一つに  
決まってる

いいよう

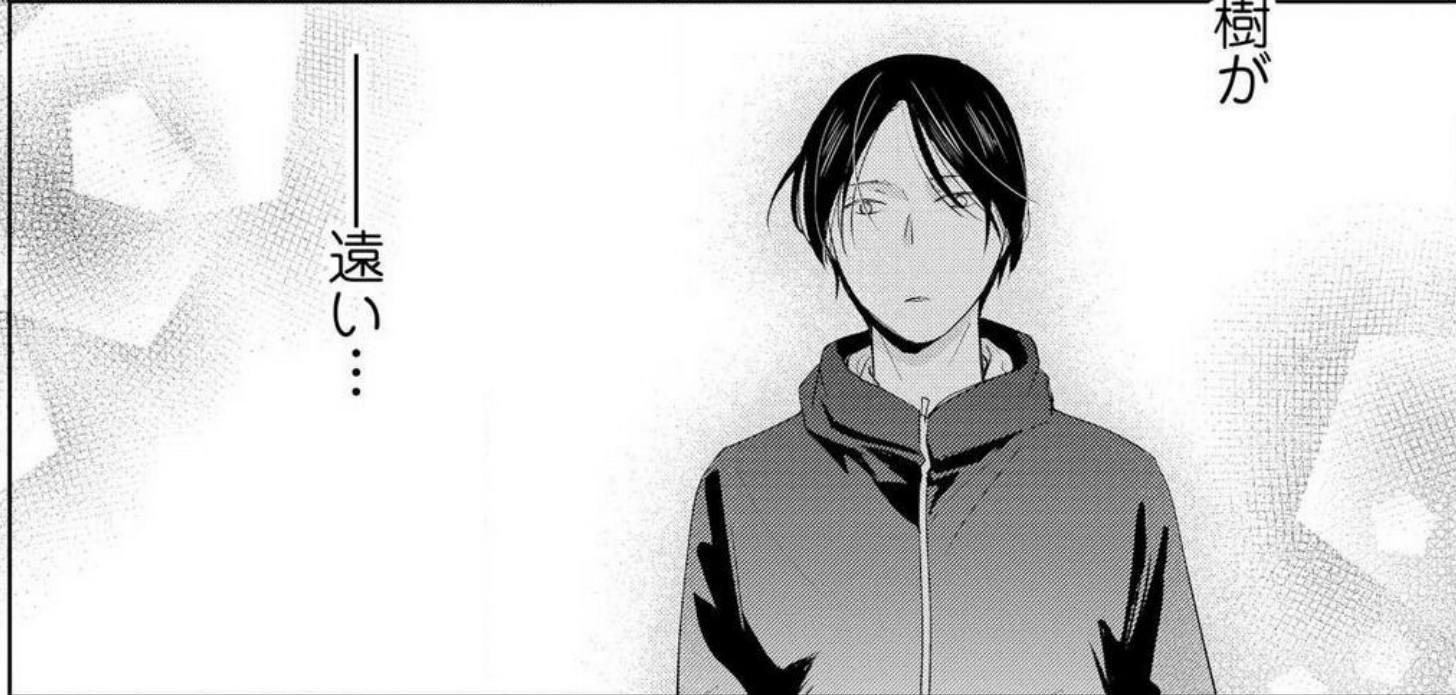
じゃあ私  
仕事行くから

うん

行って  
らっしゃい



有樹が



——  
遠い……



どうして  
嘘をつくの？

妹とデートして

私との  
高級な食事や  
映画とか送迎は

私とのことは  
なかったことに  
して

——  
罪悪感から  
とか？



聞きたいのに  
聞けない

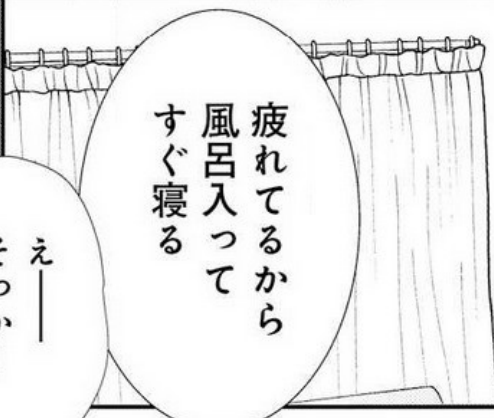
あ  
お姉ちゃん  
おかえり



決定的な  
言葉を

聞いてよ  
今日さー

ごめん



疲れてるから  
風呂入って  
すぐ寝る

えー  
そっかー

私じゃない  
誰かを選ぶ  
——つて

有樹の口から  
聞かかもしれない

それが  
怖い

怖くて  
たまらない



私

ほす

こんなに  
弱かったんだ



私に気持ち  
がないとしても

有樹を  
失いたくない



連絡も全部  
無視して

そうして  
数日――



こんなこと  
してたって  
何にもならない

翌日から

朝駅へと向かう  
道順を変えた



こんなふう  
にうじうじして  
いるのは  
私らしくない

自分で  
自分が  
イヤになる



何より  
有樹の姿を  
見られないのが  
辛い

伝えよう。

私の気持ちを

帰りはひと駅前で  
降りて  
バスかタクシーが  
歩き

前に  
進まなきゃ

はい

もしもし？  
有樹？

今駅の近くの  
公園にいるん  
だけど

出てこれない？

あ麻美ちゃん？

ハアハア

公園？  
ちよつと待っ

ちよつとユキ兄〜

何？  
電話？

今ちよつど

ソッ  
ッ！

何

今の

電話口から  
麻衣の声

二人とも  
荒い息

それは  
つまり

え？

ま…  
真っ最中  
……？

じゅあ…

やっと覚悟を  
決めたのに…っ

これは  
キツイ…

おーや

いつかの  
お姉さん  
じゃーん

ぐうぜーん

なんつってー

じつは少し前に  
駅でアンタを  
見つけてさあ

一人になるタイミング  
狙ってたんだよね

こないだ  
コケにされた  
お礼をしたくて

……

アンタみたいなの  
生意気な女  
ヒイヒイ言わすの  
大好きでさあ

薬の売人

何  
ふざけたこと  
言って…っ！

おっとお



これ打つて  
やったら  
死ぬほど気持ち悪い  
って評判でさあ

特別にタダで  
打つてやるから

楽しませて  
くれよ  
クソ女



ヤバイ

どうしよう

腕も手も  
押さえられて

——  
ツ

暴れんな  
って

このツ



抵抗が  
できない



...なっ

麻美ちゃん!!

あ...

有樹の

においだ

大丈夫？

うん…

いってえ…

ちよっと—

ユキ兄く？

タツタツ

おいコラ

見せつけてんじゃ  
ねえぞ

いきなり  
スピード上げて  
どうしたの？

タツタツ

この声

麻衣!!

来ちゃだめ!!

おーい  
有樹いた？



いた…

あれ？

お姉ちゃん？

えっ？



へー

その女性  
麻衣ちゃんの  
お姉さんなんだ？

何？  
そいつら

おっ  
悪者っ  
ぽい

ナイフ  
持ってるじゃん



わー

この二人  
薬の売人なの

警察に  
電話して  
くれる？

了解

お姉ちゃんも  
大変だね？

謎のマッチョ軍団の  
出現で

チンピラ二人は  
戦意喪失

無事逮捕



へえ…

キックボクシング  
……

うん

一年くらい前から  
始めてたんだ

麻衣ちゃんは  
ほんの先週からだよ

護身のためにつて

元彼が  
ストーカー化  
したんだって

えっ

だからあんな  
いい体して…



私そんなの  
相談受けて  
ない……

始めてすぐ  
同じ練習生の  
マツチヨな  
彼氏ができて

その人が  
撃退して  
くれたって



そっか…

麻衣とは  
最近ずっと

有樹とのこと  
誤解して  
ろくに話して  
なかった


反省しなきゃ

——ていうか  
なんで隠してたの？

キックボクシング  
始めたこと

え

だって



ある日突然  
強くなったところ  
見せて

驚かせ  
たくて…

—は？



え？  
え？

それだけ？

そうだよ  
他に何かあるの？

男のロマンだよ

好きな女の子に  
カッコイイって  
思われたい

頼れる男だって  
思われたい



好き…？

！



えっ  
あ

…うん…

こっ  
子どもの頃から…  
ずっと

じゃあなんで…

忘れて欲しい  
なんて言ったの!!

いつから?



それは…っ

順番を  
間違えたと  
言うか…

ちゃんと告白して  
デートとか…  
おつき合いして

それから…  
ああいうことを  
したかったのに…



酒の力を  
借りてなんて

麻美ちゃんは  
嫌いでしょ?

そんな  
順番を守らない  
不誠実な男

だからその

仕切り直しを  
…って

ば

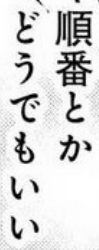


つかじゃ  
ないの!?

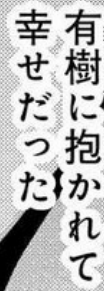
だから  
ごめんって

仕切り直しなんて

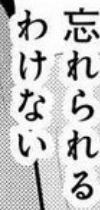
しなくていい



順番とか  
どうでもいい



有樹に抱かれて  
幸せだった



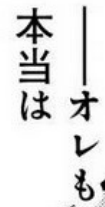
忘れられる  
わけない



んっ



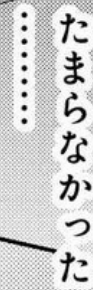
あの夜以降  
会うたび  
麻美ちゃんを  
抱きたくて  
抱きたくて



——オレも  
本当は



あ……っ



……  
たまらなかつた



気持ちいい?

胸

あん

ん

いっ…っ

あ

は



大好きな  
有樹の顔が

欲情した  
ケモノに  
変わる



可愛い

麻美ちゃん

体じゅうを  
熱い舌が  
這って

ん

食べられて  
いるみたい

あ

あ

あ…っ

体が

ああっ……!!

熱くて  
たまらない

あ  
だめ

だめ  
気持ちい

有樹……っ

もう……っ

いれて  
いい？

……っ

うん  
いいよ

順番どおりで  
スマートで







ずっと

これから

っねえ

有樹…っ



結婚しよっか

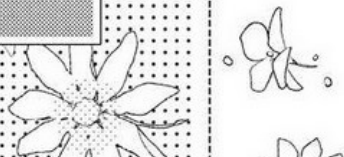
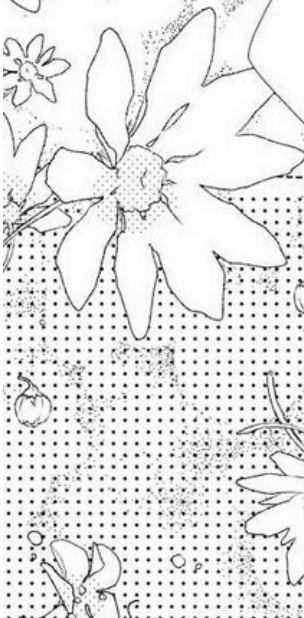


!

—その後  
いつまで経っても  
根に持たれた

オレが先に  
プロポーズ  
したかったのに

って



Young  
Love  
Comic **aya**

【単話売】 キミは可愛いケダモノ 2話

本崎月子

©TSUKIKO MOTOZAKI

デジタル版発行 2019年2月

初版発行 2019年2月

発行人 北脇信夫

編集人 中江陽奈

発行所 株式会社 宙(おおぞら)出版

<http://corporate.ohzora.co.jp>

最新の住所・電話番号は弊社HPをご覧ください。

本書はフィクションです。実在の人物、事件、団体には、いっさい関係ありません。

本書の一部、または全部を無断で複製・転載・上映・放送等することは、法律で定められた場合を除き、著者及び出版者の権利の侵害となります。